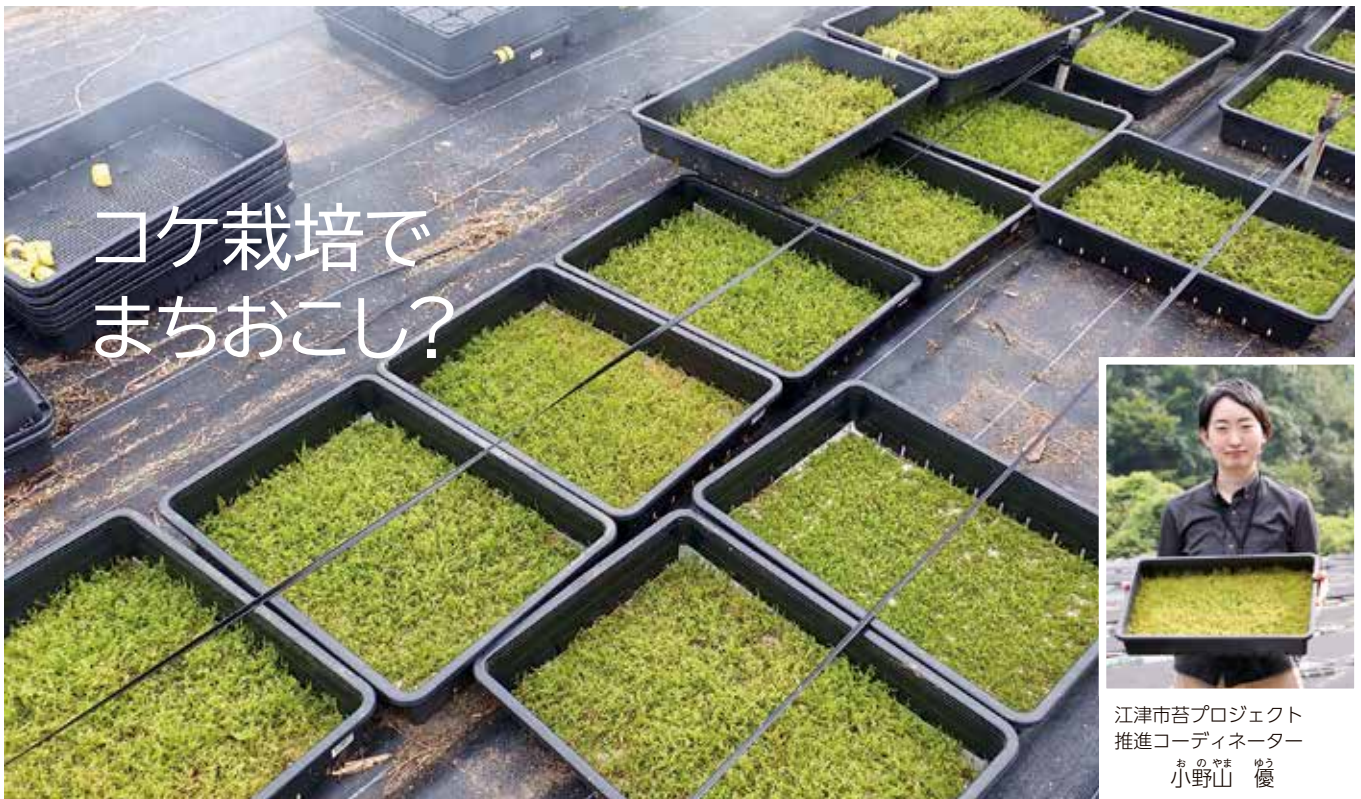




# 地域おこし協力隊通信 vol. 2

農林水産課

Tel 0855 (52) 7956



## コケ栽培で まちおこし?



江津市苔プロジェクト  
推進コーディネーター  
小野山 優

### 何故、コケなのか

コケは市民の皆さんにとってあまりにも身近で、なぜコケを栽培し販売しようとするのかと、疑問に思われているかもしれません。

始まりは、とある有名な庭園デザイナーが江津を訪れた時でした。その人は市内に自生するコケをみて「感激した」そうです。

この事がきっかけで、豊富にある「コケ」に価値があることに気が付き、地域資源の一つとして捉えるようになったのです。

### どうして栽培をするの？

江津市にはたくさん地域課題があります。中でも農地の維持は人口の減少、農家の高齢化により年々厳しくなり、あわせて耕作放棄地も増えています。

コケの栽培は、資材が軽いため女性や高齢者でも始めることができます。また、耕作面積の狭い場所でも栽培ができるため、耕作放棄地の活用にはぴったりなのです。

江の川が中心地を流れ、支流も数多く存在する江津市は、コケが育つのにとてもいい環境です。中山間地域だからこそできる農業なのです。

### コケの種類

日本には約1,700種類のコケが自生しています。需要が多いのはハイゴケで、江の川の流れる江津市には、育ちやすい環境があります。

全国でハイゴケを大規模に栽培しているところがないため、江津市ではハイゴケの栽培に力をいれています。



①



②



③

①江の川のおかげで湿度が高くコケが育ちやすい環境に。②栽培したコケは自生しているコケと比べ、ゴミや虫が少ないため、お客さんに喜ばれます。③跡市地区でコケ栽培に取り組む様子です。難しい作業もないので誰でも取り組むことができます。